

説明会内容

-
- 名 称 村岡新駅周辺地区整備事業及び都市計画に関する説明会
 - 日 時 2021年6月24日(木) 19:00~21:00
2021年6月26日(土) 19:00~21:00
 - 場 所 藤沢市藤沢公民館・労働会館複合施設 Fプレイス ホール
 - 参加者 6月24日 86人
6月26日 46人
 - 事務局 藤沢市 計画建築部 都市計画課
都市整備部 都市整備課

■趣 旨

「村岡新駅周辺地区のまちづくり」に関して、まちづくりの検討内容及び都市計画に関するスケジュールなどについての説明会を開催したものを。

■主な内容

(アルファベット：参加者 整：都市整備課 計：都市計画課)

1. 開会
記録のため録音、写真撮影することを告げ、了承を得る。
2. 挨拶
3. 説明(村岡新駅周辺地区のまちづくりについて)
説明の後、一括して質疑を行う。
4. 質疑・応答

【6月24日】

- A・村岡新駅を作ることには反対。
 - ・2分間隔での停車は小田急線並みであり、駅間の間隔が短すぎる。
 - ・この事業に賛成なのは土地を売れるような権利者に限定され、他の住民は固定資産税が上がるだけである。
 - ・福祉事業が縮小されており、コロナ禍でこの事業を進めることに疑問がある。
- 整・昭和30年代に都市計画を定めて以来、本市では、鉄道駅を交通の柱に据えて駅設置とまちづくりをセットで行ってきた。
 - ・将来都市構造の実現に向けて、市内で順次事業を進めており、今回ようやく村岡の整備に取りかかることになった。
 - ・村岡新駅周辺は利便性が上がるとともに、研究開発拠点を創出することで、効果が市全体に波及していくことをめざしている。
 - ・村岡新駅を設置することにより、公共交通へのシフトとともに、藤沢駅及び周辺の交通上の負荷の軽減も期待出来る。
 - ・福祉事業へのご意見については、関係部署に伝えていきたい。
- B・村岡新駅については神奈川県知事と武田薬品の社長との話し合いがあって始まっている。
 - ・鎌倉市の深沢地区のまちづくりも当初から変更されているのに、新駅の事業の前提は変わらないのか。
 - ・研究開発拠点として村岡新駅周辺は、総合計画や産業振興計画に掲載されていない。ヘルスケア関連は健康と文化の森地区が、産業集積は新産業の森地区が位置付けられている。
 - ・乗降客数が減少すると思われ、また、駅前の土地は交通結節点としては狭く、無意味である。
- 整・村岡新駅の検討については、地元から貨物駅跡地を旅客化してほしいという請願をきっかけに始まっている。
 - ・3県市で計画の変更等も踏まえながら乗降客数等の前提の確認は行った。

- 計・産業部局の計画には、直近で動いている計画を載せている。都市マスタープランにおいて村岡新駅周辺は研究開発拠点として位置付けている。
- ・村岡新駅の南北に交通広場を設置する、モビリティの新しい技術等を取り入れて、交通結節点を形成していきたい。
- C・新駅南側へのアクセスはシンボル道路以外にあるか。現状、宮前地区は道路が狭く大量の車が流入すると地域への影響が出る。
- 整・新駅南側へのアクセスは、新しく設置する村岡新駅南口通り線（シンボル道路）で行う。宮前の市街地と駅前広場は道路で連絡する計画になっている。駅ができることで拡幅の必要が生じる地区外の道路については、今後、警察などと協議し、地元と話し合いながら検討していきたい。
- D・新駅はにぎわいが創出されるのか。藤沢の中心である藤沢駅をどうするかということとセットで考えてほしい。
- 整・藤沢駅周辺は本市の商業業務の中心地であり、藤沢駅周辺の中心としての機能をそぐのではなく、村岡新駅周辺と機能分担をしていきたい。
- E・藤沢駅周辺が廃れてしまう。お金があるのであれば、将来を担う子どもたちに使ってほしい。
- 整・藤沢駅周辺は本市の中心市街地として再活性化をめざし、再整備を進めている。藤沢駅周辺と相乗効果を生み出し人がにぎわう街を目指したい。
- F・JR東日本の負担は少ないと感じる。また着手はいつ頃で駅ができるのはいつになるのか。
- 整・通常、請願駅であればJR東日本は費用負担しないが、村岡新駅については15%負担することになった。JR東日本によれば、順調に進めばR14年に駅が開業する見込みとのこと。
- G・まちづくり方針に関するパブリックコメントの結果公表前に新駅設置に関する覚書を締結した。
- ・市全体にはいつ何回説明会を開いたか。今後は何回説明会を予定しているのか。
 - ・村岡地区で行ったアンケートでも31%の方が反対している。村岡新駅は一旦中止して住民の声を聴いてほしい。
- 整・新駅設置に関する覚書の締結以降、全体への説明会はこれがはじめてである。市民にご理解が得られるよう、情報発信、提供に努めていきたい。また、ご意見等については常時受け付けている。
- 計・都市計画決定の手続きは、スケジュール通り進める。今後も、公聴会、意見書の提出と意見を述べる場は設けている。
- H・昭和61年の請願はどのような内容だったのか。根岸線の駅の設置を要望したはずである。そうであれば、議会で採択された内容と違うのではないか。
- 整・請願の目的は混雑緩和と、旅客駅設置の要望である。その時期、根岸線の延伸も要望していた。
- ・請願の要旨は大きく3点ある。
 - 都市計画に位置付けてほしい。
 - 国鉄と早急に協議を進めてほしい。
 - 東海道線の混雑緩和と中間駅を設置してほしい。
 - ・本市は当時、根岸線の延伸を国鉄に要望していた経緯があるが、検討の中で困難であることが分かった。
 - ・この請願は現在の新駅の出組みのきっかけとなっている。検討は継続的に進めていた。

Ⅰ・覚書に事業費の金額は掲載しないのか。福祉の予算を減らしているが、予算がなければ、建設費から削るべきだ。

整・事業費はまだ概略設計で算出された概算の段階なので、覚書には負担割合のみ示している。市の予算は全体で調整しており、建設と福祉予算をバスターで考えているわけではない。

【6月26日】

A・東海道線に作る駅は必要ない。

- ・事業の説明については公民館単位で部長、理事者、議員を呼んで説明会を行うべきである。
- ・市は新庁舎の建替え、藤沢駅周辺の開発、市民会館の建替えについては以前より計画しているが、後から出てきた村岡新駅にお金を使うのはおかしい。
- ・福祉の予算を削り、新駅の整備をすることに反対、一度立ち止まり2~3年かけて、もう一度考えるべき。

整・この事業を市民に知っていただくことは重要だと考えている。今後、情報提供のあり方についても検討していきたい。

- ・公民館単位の説明会は考えていないが、事業の期間は10年程度が予定されており、その間も事業の段階に合わせて情報発信を行っていく。
- ・福祉事業の削減とこの事業はバスターではない。このまちづくりで市を牽引し市全体への活力の波及効果を期待したい。

B・不公平とならないように説明会をすべての市民センターで行うべき。

- ・大企業を優遇するまちづくりのように感じる。
- ・お金があれば、中学校給食、高齢者の無料パス等に使っていただきたい。

整・新駅設置により村岡地区の周辺の住民の方々の利便性向上につながるまちづくりを進めていくとともに、研究開発拠点を創出することで新たな雇用を生み出す等、市全体の活性化に繋げていきたい。

- ・本市は村岡だけに駅を作ろうとしているわけではない。昭和35年に善行、昭和41年に湘南台に駅を誘致し、まちづくりを合わせて行うことで、駅を作るとともに、居住の場、就業の場を整備してきた。都市計画には時間がかかり、今回はようやく村岡の取組みを進められるようになった。

C・コロナ禍により市民は制限を受けている。新しいまちづくりにも影響をどのように考えているか。駅利用者も減るのではないか。

整・新駅の設置と周辺のまちづくりについてはコロナ禍が発生してから判断している。

- ・まちづくり方針についてもコロナの状況を踏まえながら検討したもの。当初より検討の中では10年後以降の暮らし方、働き方を見据えていたが、コロナ禍によりその状況が前倒しになったと考えている。

D・村岡は浸水区域であり、不必要な大規模開発は地球環境を脅かすことになるのではないか。

整・開発に伴い浸水被害が広がってしまうことはあってはならない。浸水対策については、災害リスクを最小化すると共に民間事業者とも連携しながら周辺の住民も避難ができる環境等について検討していく。

- ・村岡には昔ながらの物語のある緑が多くあり、自然を守りながら開発は行いたいと考えている、今後まちづくりのなかで検討していく。

E・事業で整備するのは資料の着色された部分だけとなるのか。地区外の道路整備はしないのか。

整・基本的には着色部分のみ整備を行う。村岡地区は道が狭い箇所もあるので、そのような細かい部分については地域の方と調整しながら話を進めていく。

- F・新駅ができることを知らない人がほとんどであり、市長選挙や市議会選挙でも村岡新駅の件には言及せず無責任である。
- ・未来の話をする前に現在の学校や保育園の状況を考えていただきたい。
 - ・立派な公園は作らなくてよい、身近な公園を作っていただきたい。
 - ・全体の事業費はいくらかかるのか。その事業費が膨れ上がることはないのか。

- 整・情報が皆様に届いていないのは課題だと考えている。今後、情報発信について様々な世代からの意見を聞くことも含めて取り組んでいきたい。
- ・駅の費用は概略設計で150億円であり、この場合、41.25億を市が負担することになる。都市基盤整備費等は2月議会で約120億円と報告している。
 - ・教育の場、保育等の状況に関するご意見について、我々の部署から今、回答はできないが、本市としては今の課題に取り組むとともに、一方、村岡の事業については今の子どもたちが活躍する時代を見据えた未来への投資だと考えている。

- G・33の福祉事業が削られているなか、村岡の事業を実施するべきではない。
- ・駅の設置予定地は自然豊かな環境である、駅ありきのまちづくりは行うべきではない。

- 整・村岡地区は緑豊かで、歴史的な資源が多くある場所であり、これらを活かしたまちづくりを進めたい。
- ・地元が以前生み出した貨物駅用地を旅客化してほしいという要望から、確保していた用地であり、現在更地になっている部分を中心に研究開発拠点を形成していきたい。

- H・全部の市民センターで自由に発言できるような機会を設けて欲しい。
- ・議会にはいつ報告するのか。

- 整・この事業をできるだけ市民に知っていただくことは重要だと考えている。今後、情報提供のあり方についても検討していきたい。
- ・議会については事業に進展があれば建設経済常任委員会で報告することになる。予算を通す際にも議会に説明することになる。

- I・このまま説明会を終わらせるわけにはいかない。今日出た課題を持ち帰り検討するものを教えていただきたい。

- 整・今後、福祉や教育の視点も持ちながらまちづくりを検討していきたい。また、市に持ち帰り各部署に本日のご意見については伝える。
- ・また、周知の方法、情報発信については課題だと考えているので、今後検討する。

- 計・様々な問題が組み込まれており、都市計画の立場として検討していきたい。

5. 閉会

以 上